青森県警察障害者活躍推進計画に関する取組状況

青森県警では、「青森県警察障害者活躍推進計画」を策定し、本計画のもと、障害者である職員を含む全ての職員が活躍できる働きやすい職場環境づくりに向け、令和3年度に取り組んだ状況を公表します。

目標

採用に関する目標

現状と課題を踏まえ、採用に関する目標を
6月1日現在の実雇用率を令和6年度までに法定雇用率^{*}以上と設定する。

※ 法定雇用率 2.6%（令和3年3月1日改定）

※ 実雇用率及び法定雇用率の算定には警察官は含まれず、警察官以外の職員（警察行政職員及び会計年度任用職員）が算定の対象となります。

定着に関する目標

定着に関する目標を、在職中の疾病・事故等による障害も含め、警察官も対象として、「障害を理由とする不本意な離職を極力生じさせないこと」と設定します。

令和3年度の取組状況

採用に関する取組状況

障害者を対象とした職員採用試験を実施し、常勤職員を1人採用しました。これにより実雇用率は、3.84%となり、法定雇用率を上回っている状況です。

また、採用者に対し、個別面談を実施し、採用に向けた疑問や不安などの相談に応じ、不安解消に努めました。

○ 令和3年度採用試験の実施状況（令和3年10月実施）

【障害者を対象とした青森県職員採用選考試験】

採用予定人員	受験者	合格者
1人	3人	1人

定着に関する取組状況

- 障害を有する職員に対してアンケート調査を実施し、職場で支障となっている事情の有無や施設等の改善要望について意見集約しました。
また、アンケート結果に基づき、個別面談を実施し、勤務に支障が出ている事情、施設等の改善要望、業務のマッチング状況などを確認しました。
- 個別面談実施結果をもとに、個人ごとのカルテを作成し、勤務に支障が出ている事情について配置所属と人事担当で情報共有しました。
また、施設等の改修要望について、関係課と連携し、庁舎の出入口や廊下等へ手すりを設置しました。
- 業務のマッチング状況を参考とし、本人の希望や能力を踏まえ、人事異動へ反映させ、適所へ配置しました。
- 警察本部長や部外講師による障害理解に関する講演を実施し、全職員に対する教養を推進したほか、障害を有する職員と業務を進めるに当たっての基礎知識に関する部内教養資料を作成し、庁内LANに掲示して全職員の障害者に対する教養を実施しました。
- 障害者活躍推進チーム会議を開催し、組織内の障害を有する職員の雇用状況や配慮すべき事項の情報共有を図りました。

今後の取組

採用試験の実施

- 法定雇用率を下回らないよう、計画的に採用試験を実施します。

働きやすい職場環境の構築

- 障害を理由とする不本意な離職を極力生じさせないため、業務の見直しや切り出しを不断に行います。また、障害に配慮した施設改修等を進め、働きやすい職場環境の構築に努めます。